

# 下痢

- ◆下痢の原因には様々なものがあります。原因によって治療や予防が異なりますので、便が軟らかい、色がおかしい、においがきついなど普段と違う場合は、便の検査をしましょう。
- ◆また、よく下痢をしたり、軟便が続く状態を、「おなか弱いかな」と軽く考えないようにしましょう。何らかの異常から、下痢が起こっている可能性があります。

## 下痢の原因ってなんだろう？

### 細菌

- \*腸の中にもともとある細菌のバランスが崩れると、消化・吸収の機能が低下します。  
→食事を変えた、環境の変化、ストレス、季節の変わり目など

### 寄生虫

- \*散歩中の、落ちている便やノミなどから腸に感染します。  
とくに子犬はペットショップやブリーダーで感染していることがあります。

### 食物アレルギー

- \*アレルギー体質の犬は、アレルギーの原因となる物質(アレルゲン)を含んだものを食べることで、下痢を起こすことがあります。

### ウイルス

- \*かなり激しい下痢(血便)と吐き気が起こります。子犬では血糖値が下がって、けいれんを起こしたり、死に至る危険性もあります。

### 中毒

- \*犬にとって有害な成分を含んだものを食べて中毒を起こし、下痢をすることがあります。  
→たまねぎ、チョコレート、観葉植物(シクラメン、ポインセチア、アンセリウム、カラジウム、アロエ、アサガオなど)、農薬など

### 異物

- \*異物が胃や腸にあると、嘔吐や下痢を起こします。

### その他の病気

- \*胃腸の炎症や閉塞、膵臓・肝臓などの疾患、腫瘍、免疫異常、神経異常など

## 治療

※全身症状(食欲不振、嘔吐、発熱、腹痛など)の有無によって異なります。

### ○全身症状がない場合

- ・整腸剤、抗生物質、駆虫薬などの投与
- ・脱水があれば補液

### ○全身症状がある場合

- ・病院に連れて行きましょう
- ・点滴・補液で脱水を補う
- ・それぞれの原因に対する治療

### ○慢性的に下痢が続く場合

- ・食物アレルギー:食事の改善、処方食の使用
- ・整腸剤、抗生物質、駆虫薬、消化酵素剤などの投与
- ・脱水があれば補液
- ・それぞれの原因に対する治療

☆下痢をしている時は1回の食事の量を少なく、回数を多くして、なるべく小分けにしてあげましょう。

